

最近の雇用情勢について

(令和8年6月)

青森労働局

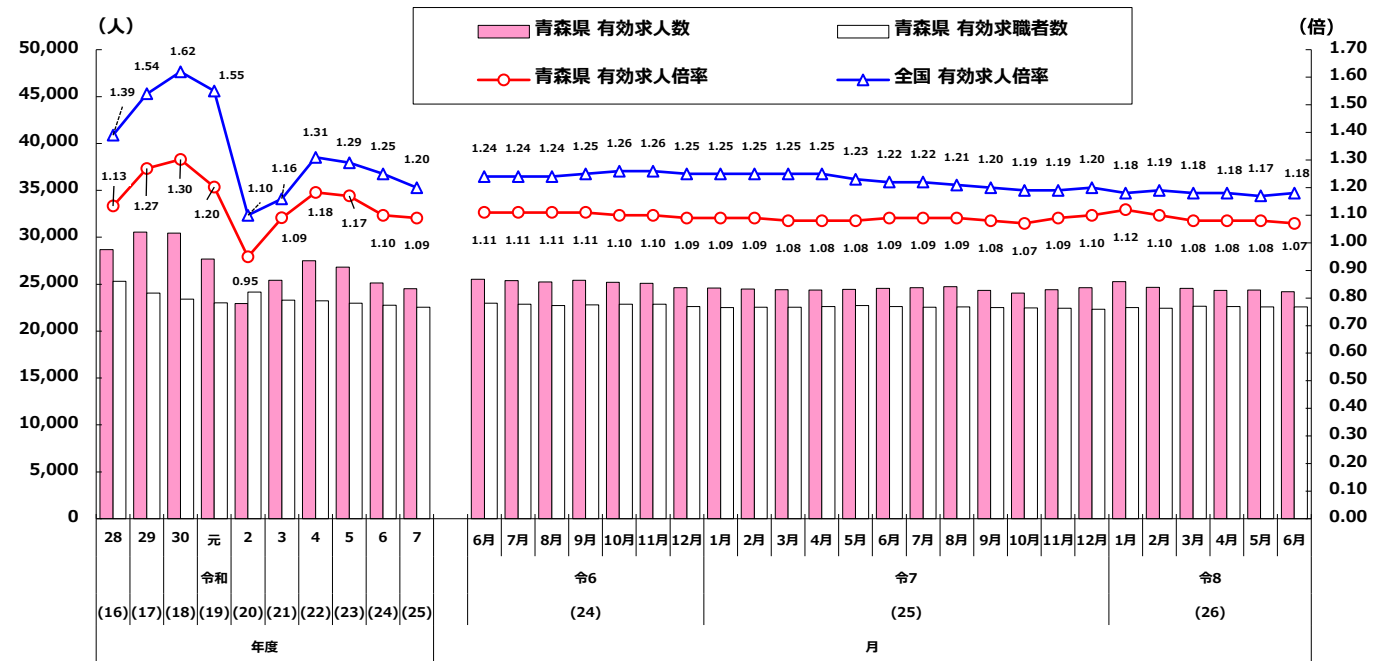
職業安定部

I 受理地別求人倍率の推移(季節調整値)・・・年度平均は原数値

6月の一般職業紹介状況を見ると、有効求人数(季節調整値)は前月に比べ0.6%(147人)減少の24,216人、有効求職者数(同)は前月に比べ0.1%(14人)増加の22,597人で、有効求人倍率(同)は1.07倍となり前月と比べ0.01ポイント低下した。

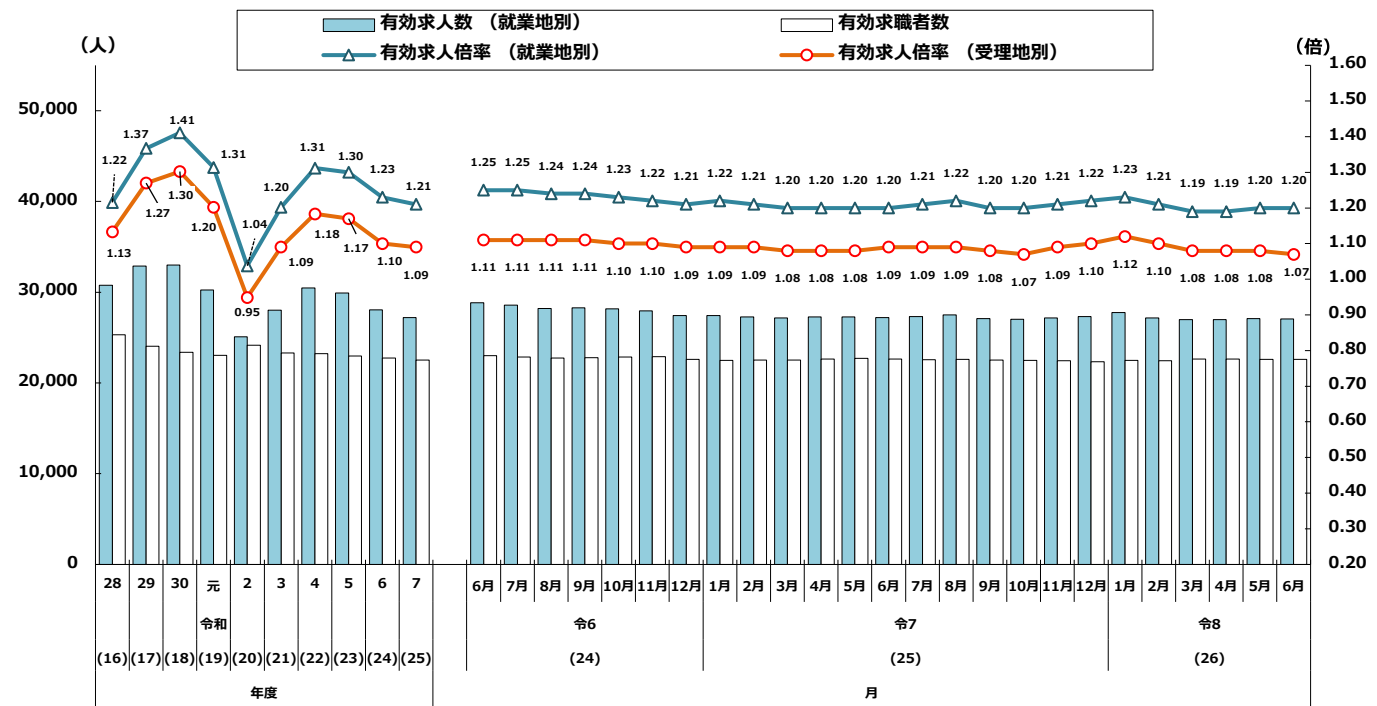
就業地別の有効求人倍率(季節調整値)は1.20倍で前月と同じであり、受理地別の倍率を0.13ポイント上回った。

受理地別有効求人倍率の推移 (全数・季節調整値)



※ 県内のハローワークで受理した求人数から求人倍率を算定。

就業地別有効求人倍率の推移 (全数・季節調整値)



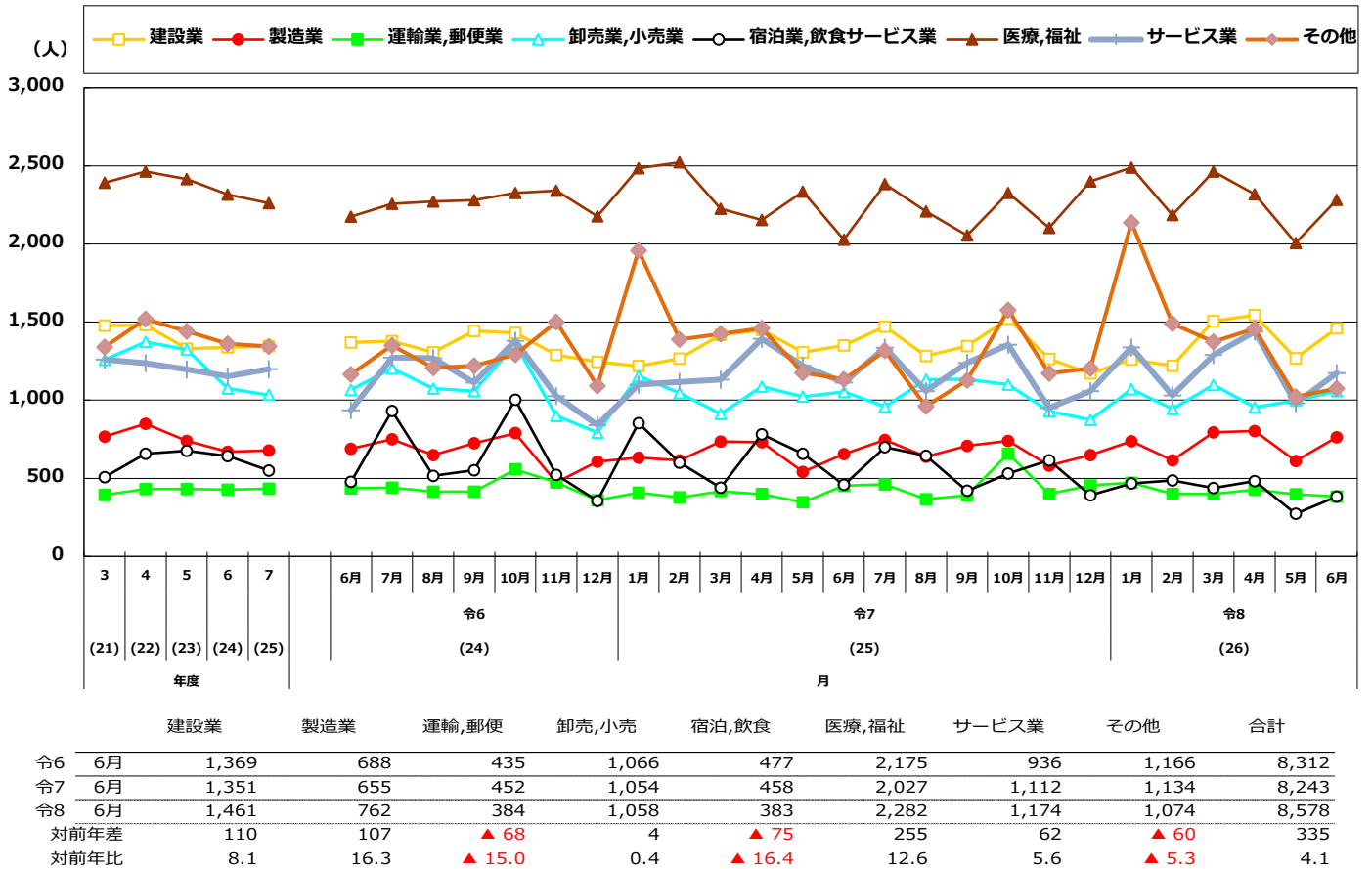
全国ハローワークで受理した求人で、就業地が青森県内となっている求人数から求人倍率を算定。
就業地として複数の市町村が挙げられている場合は、求人数を該当の市町村に割り当てることにより集計。

(注) 季節調整法はセンサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による。なお、令和7年12月以前の数値は、令和8年1月分公表時に新季節指数により改定されている。

Ⅱ 新規求人の状況(学卒を除きパートタイムを含む)

6月の新規求人数(原数値)は前年同月比4.1%(335人)増加の8,578人。

主要な産業の新規求人数(原数値)をみると、前年同月との比較で、運輸業、郵便業及び宿泊業、飲食サービス業で減少し、建設業、製造業、卸売業、小売業、医療、福祉及びサービス業で増加した。なお製造業のうち、はん用・生産用機械器具造業及び化学工業、石油製品・石炭製品製造業、プラスチック、ゴム製品製造業で減少し、繊維工業、パルプ・紙・紙加工品製造業、電子部品・デバイス・電子回路製造業及び情報通信機械器具製造業等で増加した。

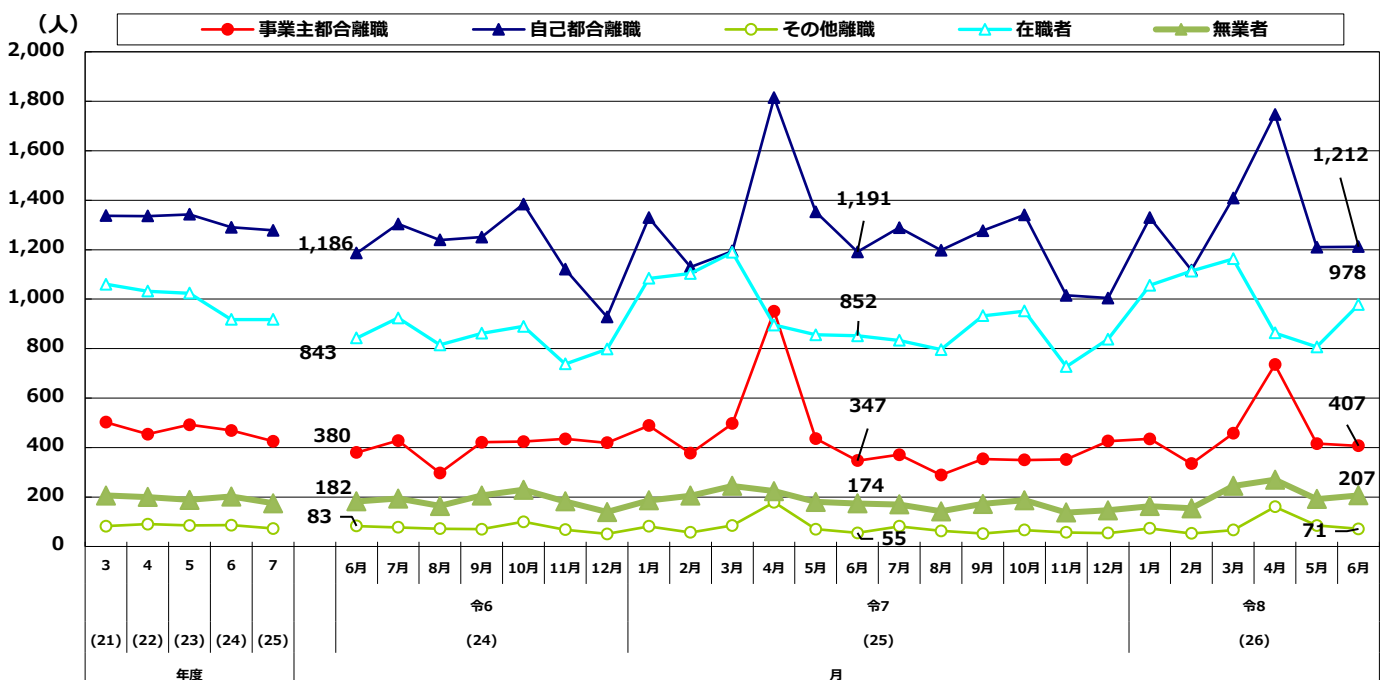


Ⅲ 新規求職の状況(パートを除く常用)

6月の新規求職者数(パートを除く常用・原数値)は、前年同月比9.8%(256人)増加の2,875人。

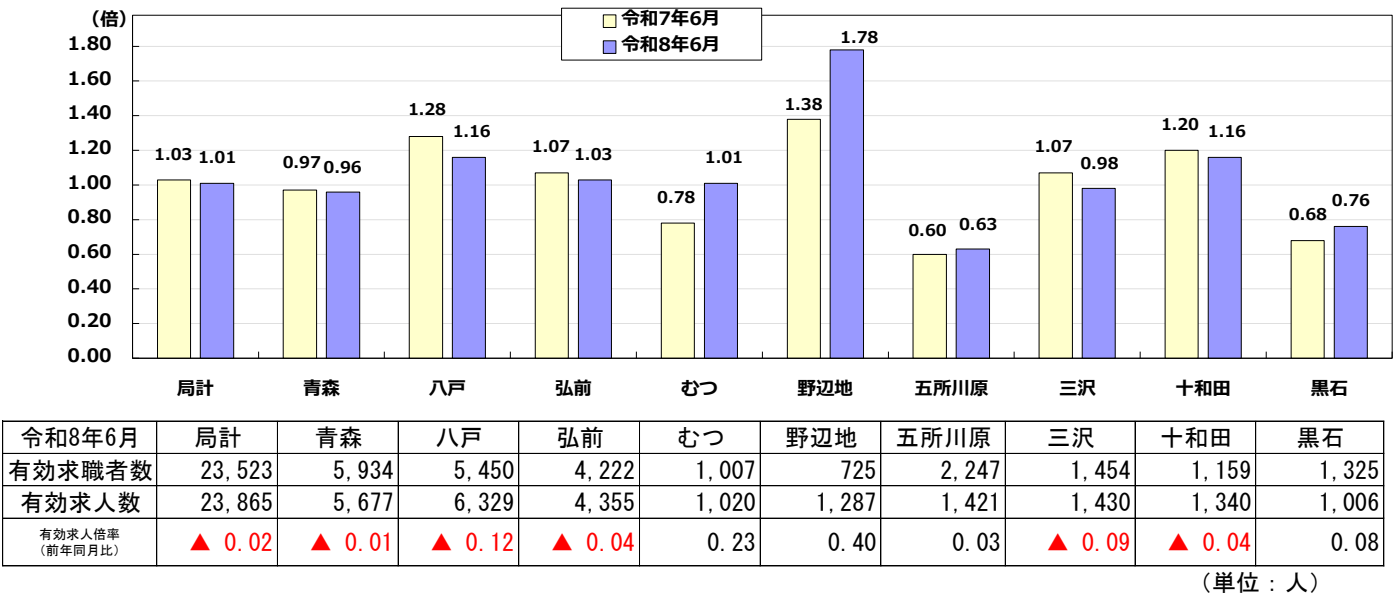
区分ごとに前年同月と比較すると、在職者は14.8%(126人)増加の978人、離職者は6.1%(97人)増加の1,690人、無業者は前年同月比19.0%(33人)増加の207人であった。

離職理由別では、事業主都合離職は前年同月比17.3%(60人)増加の407人、自己都合離職は前年同月比1.8%(21人)増加の1,212人、その他離職(自営廃止等)は同29.1%(16人)増加の71人であった。



IV 安定所別有効求人倍率の状況(学卒を除きパートタイムを含む全数・・・原数値)

6月の局計の有効求人倍率(原数値)は1.01倍となり、前年同月より0.02ポイント低下した。
各安定所の有効求人倍率は次のとおり。



V 雇用保険の状況

6月の受給者実人員(基本手当基本分)は、前年同月比9.4%(512人)増加、前月比では12.1%(647人)増加の5,987人となった。また、受給資格決定件数は、前年同月比1.4%(16件)増加、前月比では24.7%(390人)減少の1,192人となった。※受給資格決定件数は速報値であり、修正の可能性があり得る。
資格喪失者(高年齢、短期特例被保険者を除く)のうち事業主都合は、前年同月比3.4%(8人)増加、前月比6.1%(14人)増加の242人となった。

